
第 35 報 平成 24 年 4 月 16 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

財団法人 経済調査会

【宮古地区（岩手県） 骨材】

骨材の需給は一段とひっ迫感を強めている。メーカー各社は運搬車両不足・燃料高騰から、コスト上昇分を製品価格に転嫁するべく需要家と交渉。メーカーの販売姿勢は強く、購入側も価格よりも納期を優先する場面が多く見られ、砂・碎石ともに価格は強含み推移。

【石巻地区（宮城県）生コンクリート】

石巻地区生コンクリート協同組合では、震災により被災したプラントの修繕費、生コン車の新規購入費、骨材の値上げ、燃料高騰による製造・輸送コスト上昇を理由に、1月から値上げを表明して需要家と価格交渉を実施している。

今後も協同組合員と非組合員との競合状況は続くと思われるが、出荷能力をはるかに上回る需要を背景に同協組の販売姿勢は強く、需要家の対応が注目される。

【石油製品】

イラン情勢の緊迫化を背景に原油が高値圏で推移する中、為替が円安に進んだため、元売各社は卸価格を引き上げた。流通側は仕入れコストの上昇分を販売価格に転嫁したため、市況は上伸している。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

【東北地区（被災地） 主要資材概況】

2012年4月13日

地区名 ー 宮古地区（岩手県）

資材 ー 骨材

概況

昨年秋以降、災害復旧関連工事が一斉に発注される中、骨材の需給は一段とひっ迫している。各メーカーは運搬車両不足・燃料高騰から、コスト上昇分を製品価格に転嫁するべく需要家と交渉。メーカーの販売姿勢は強く、購入側も価格より納期を優先する場面が多く見られ、砂・砕石ともに価格は強含み推移。生コン用骨材に関しては、今年度発注予定数量に対し、骨材生産量が不足することが確実な状況で、生コン工場では海上輸送で他地区からの納入も具体的に検討しているもよう。

地区名 ー 亶理地区（宮城県）

資材 ー 再生砕石

概況

従来は仙台地区と同一の市況圏であったが、震災以降は状況が変化。亶理地区の再生砕石メーカー数は仙台地区の半数以下であるうえ、コンクリート廃材等の在庫量がひっ迫しており、在庫に多少余裕がある仙台地区とは供給状況に差異が生じている。仙台地区からの持ち込み量も減少しており、価格は強含みで推移している。

地区名 ー 石巻地区（宮城県）

資材 ー 生コンクリート

概況

当地区の需要は、石巻地区生コンクリート協同組合員5社5工場と非組合員4社4工場で購入されている。1月から本格的に震災復旧工事向けの出荷が始まり、各工場はフル稼働で出荷対応を行っている。今年度の生コンクリート需要について、建設資材対策東北地方連絡会（平成23年度第3回）では、石巻地区全体・上期の公共工事（国・県の発注）向けで、約42万m³と見通しているが、同協組としては1工場1カ月当たり7,000m³程度での出荷対応が限界としている。

一方、価格面については、同協組では、震災により被災したプラントの修繕費、生コン車の新規購入費、骨材の値上げ、燃料高騰による製造・輸送コスト上昇を理由に、1月から値上げを表明して需要家と価格交渉を実施している。

今後も協同組合員と非組合員との競合状況は続くと思われるが、出荷能力をはるかに上回る需要を背景に同協組の販売姿勢は強く、需要家の対応が注目される。

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	18 ～ 41	異形棒鋼	4月9日	マンションや物流倉庫の建設需要が堅調に推移しており、市場において、需要は当面、底堅いとみられている。関東地区では、電力会社が4月から電気料金の引き上げを要請しており、電炉メーカー側は電気料金が引き上げられた場合、原料の鉄屑価格の高止まりと併せてコスト面でさらに苦しくなるとして、販価の引き上げに本腰を入れている。ただし、需要家側も強く抵抗しており、価格交渉は難航している。	均衡	強含み
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	4月4日	供給体制は平常通りとなっている。被災地区の需要は他地区に比べて好調だが、全国的には需要不振による荷動きの鈍さから、販売側で安値販売が見られており、価格はやや下落している。	やや緩和	弱含み
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	4月4日	震災関連に伴う需要は見られているものの、荷動きは鈍い状況。降雪の影響から原木の出材量は少ないが、本格的な復興需要には至っていないため、現時点での需給は安定している。	均衡	横ばい
		230 ～ 237	一般建築用 木材	4月4日	戸建住宅向け中心に荷動きが見られるものの、大工職人の不足が依然として解消されておらず、工事量が制限されている。このため、材料の供給は逼迫することなく安定している。	均衡	横ばい
	石油製品	250～252	石油製品	4月9日	イラン情勢の緊迫化を背景に原油が高値圏で推移する中、為替が円安に進んだため、元売各社は卸価格を引き上げた。流通側は仕入れコストの上昇分を販売価格に転嫁したため、市況上伸。 JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻った。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	4月12日	東北地区では東日本大震災復興工事向けの引き合いが増えてきたものの、現時点では供給能力に問題はない。 被災地以外の供給は平常どおり。	ややひっ迫	横ばい
		260 264	ブルーシート 土のう	4月12日	メーカー、販売店は東日本大震災以降、ブルーシート、土のうの在庫を積み増しており、供給能力に問題はない。	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	4月13日	需要は復旧作業向けが中心になってきている。資材運搬等のためのダンプトラックの需要は依然多く、他県からの搬入も見られる。 発動発電機の引き合いは減少傾向にあり、需要は落ち着きを見せている。一方、その他の建設機械・器具については、復旧作業向けの引き合いが徐々に増えてきており、稼働率は上昇傾向にある。	均衡	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	4月12日	【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 東北、関東地区を中心に震災需要への荷動きが活発化しており、需給のひっ迫感は強い。 賃貸業者各社は、需要低迷を背景に従前から在庫量を圧縮してきており、いまだに震災需要の全体量が把握できないことから、大勢に在庫を補充する動きは見られない。現状では、西日本の各社工場から不足材料を供給しているもよう。一部賃貸業者で保有量の増加や、減少した償却材を補填する動きが見られるが、大型案件の出件が増加傾向にあり、当面、需給はタイトに推移しよう。 【敷き鉄板】 東北、関東地区を中心に震災工事向け需要がおう盛で、需給はひっ迫している。一部賃貸業者にも保有量を積み増す動きも見られるが、大型案件の出件が増加傾向にあり、当面、需給はひっ迫した状況が続く見通し。	ひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	4月13日	JX仙台製油所では4月から針入度60-80の出荷を再開し、針入度80-100と合せ2油種を出荷。コスモ石油千葉製油所でも2油種(針入度60-80, 80-100)と、一部、針入度150-200の出荷を再開しており、供給体制は震災前の状況に戻りつつある。 また、需要の極端な集中による輸送手段の不足が心配されたが、今のところ、懸念された状況には至っておらず、需給は均衡している。 一方、市況は、イラン情勢が緊迫していることなどから、原油価格が依然として高値で推移しており、為替が円安に振れた事もあって強含んでいる。	均衡	強含み
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	4月4日	被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼働を再開しており、全品目について供給は平常通りとなっている。被災地区の引き合いは比較的多いものの、需要家は先安観から当用買いに徹しており、全国的に在庫量は増加、需給はやや緩和している。そのため、市況も弱含み傾向が続いている。	やや緩和	弱含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ~ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	4月9日	小口案件が多いが復興需要向けの荷動きは堅調。供給体制については、現時点では問題無く、平常どおりの供給が可能となっている。 一方、市況面では、販売筋は、今年度後半に始まると見られる復興需要本格化に向け、相場を維持すべく売り腰を堅持している。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	4月4日	下水関連で荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先であり、いまのところ供給体制に問題はみられない。	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

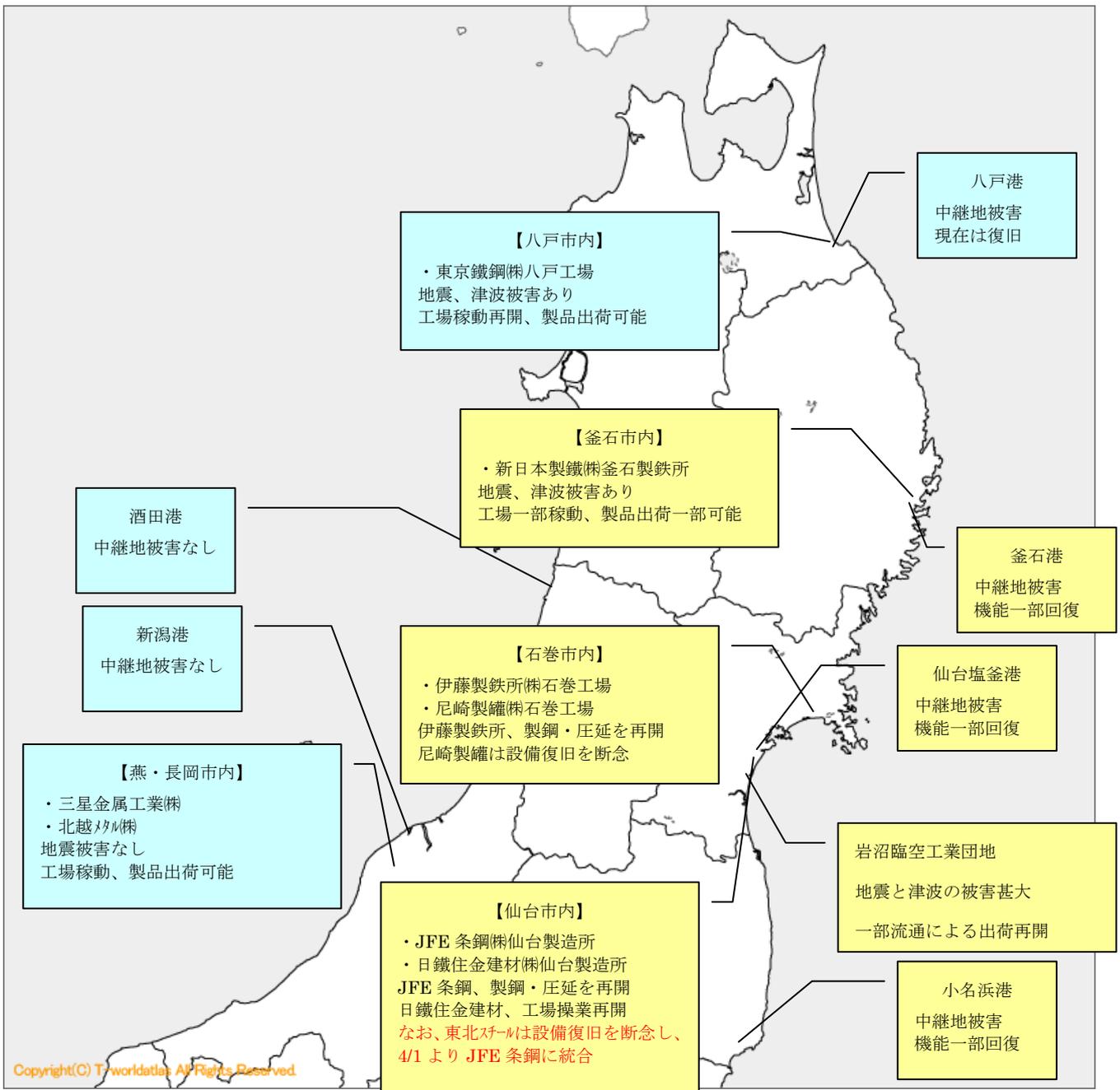
分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	4月11日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系の鉄筋工事は、官側の発注が進み、工事量が徐々に回復。沿岸部の復興需要はまだ本格化していないため、内陸部の災害復旧工事や新設・補修の一般構造物(河川、道路、橋梁、擁壁など)の工事が中心となっている。こうした中で、鉄筋工の労務不足はいまだに深刻で賃金の上昇とともに、他地区からの支援に伴う経費類も上昇している状況。専門工事業者側の値上げ要請も根強く、強含み推移が続いている。 当面、土木鉄筋工事は本格化する復興工事の需要と慢性的な鉄筋工の不足を背景に、強含みでの推移が続こう。	ひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	414 ~ 417	4月11日	岩手、宮城、福島などの被災地域では、震災後一年を経過して復旧復興に向けた工事が本格化する中、ケーソン製作などの構造物製作工事の発注も増加している。 慢性化する鉄筋工不足に対応するため、工事業者は他地域から調達も含めて労働者の確保に注力しているものの、需給バランスがひっ迫するなかで、賃金水準の上昇とともに工事費相場も強含んでいる。 当面はこの状況が解消されるとは考えにくく、強含み相場が続く見込み。	ひっ迫	強含み
	型枠工 (材工共)	422 ~ 425	4月11日	岩手、宮城、福島などの被災地域では、震災復旧工事が本格化する中で、昨年度末には多くの港湾構造物製作関連工事が発注された。工事量が増加するにつれて型枠工などの技能労働者不足は一層拡大しているため、工事業者はその確保を最優先で行っているものの、手当てしづらい状況に変わりはない。 こうした中、型枠工事相場は、型枠材費用の上昇とも相まって強基調で推移しており、当面は強含みでの市況展開が続く見込み。	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	4月4日	被災地区(沿岸部)における復興需要は本格化に至っていないが、比較的被害の少なかった地区(内陸部など)では、病院や学校などの新設や補修、耐震改修などの工事が増加している。専門工事業者側には慢性的な職人不足に対する周辺地域からの協力体制が見られるが、依然としてひっ迫している。このため、総合工事業者では職人手配に苦慮している。現状で市況は、強含み。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	4月4日	学校や病院等の緊急を要する改修工事案件が落ち着き、沿岸地域以外では住居やオフィスビルの改修工事や延期されていた新設工事案件が続々と動き出している。こうした中、型枠工の不足は改善されず、需給のひっ迫が続いている。専門工事業者側では、職人確保のため、他地域からの応援を受けて対応している場合もあり、コスト高から値上げ要求を強めている。一方、総合工事業者側では、工期との兼ね合いもあり、これを受け入れざるを得ない状況で、市況は引き続き強含みで推移している。	ひっ迫	強含み

東北・北陸地区



Copyright(C) T-worlddata All Rights Reserved

	工場稼働、製品出荷可能
	工場一部稼働、製品出荷一部可能
	工場停止、製品出荷不能

関東地区

